

# わくわくドキドキタブレット 実践報告書

高等部1年	教科等：	生活単元学習 (情報・理科・国語)	単元計画	
実践報告テーマ (簡潔に)			第1時 写真の撮り方 アップとルーズ 第2時 写真の撮り方 画角とアングル 第3時 フォトポエム作り 季節を撮ろう 第4時 フォトポエム作り Keynote の使い方 第5時 プレゼンテーション	
フォトポエム作りを通じて、iPad の使い方に慣れ、カメラ、Keynote などの様々な機能やアプリを使いこなしたり、作成やプレゼンテーションを通じて、表現活動の幅を広げたりすることができる。				
単元名	フォトポエムで季節を表現しよう			
実践のねらい (簡条書き)	・iPad の基本的な使い方やアプリの使い方を習得する。 ・写真と詩を通じて、端的に物事を伝えることができる。			
授業の展開 (簡潔に) ※動画教材や ICT を活用した部分には「★」印をつける				
導入	・今の季節について問いかける。 「“春” といえば、何を連想し (思い浮かべ) ますか？」 →板書 (電子黒板) に生徒から出たキーワードを書いていく ★これらの視点で、“春” の写真を撮ってくることを伝える。 →教室に戻ってくる時間や決まりを伝え、撮影に出掛ける			
展開	★撮影から戻ってきたら、その中から1枚写真を選び、Keynote に貼り付ける。 ★写真で表現したいことを簡単な詩で表現する。 →Keynote の使い方は写真の挿入とテキストの入力を教える 習熟度や必要に応じてその他の機能も教えていく ※ある機能や操作を1人の生徒に教えたら、次の生徒にはその生徒から伝達するよう伝える ☞そうすることで、学び合いが生まれる (学習の定着も期待できる)			
まとめ	★スライドが完成したら、プレゼンテーションの練習をする 伝える内容、ポイントを決めて、それに沿ってプレゼンできるようにする ※Apple TV への接続方法についても、1人の生徒から他の生徒へ伝達するようにする ★プレゼンテーションをしたのちに、最後に教師に AirDrop で提出する			
動画教材や ICT の活用のポイント (効果と児童生徒の反応)				
【写真】		【ポイント解説】		
				・写真を通じた作品作りなので、比較的自由的な表現活動が可能である。 ・とりあえず撮って、消してできるので、何度もチャレンジする様子が見られた。
実践報告のまとめ				
・作品作りを通じて、ICT 活用に関する様々なスキルを習得できる。 ・表現活動を通じて、アセスメント的に生徒の実態を確認することができる。 ・新年度に取り組むとよい内容だと思う。 ・Keynote や iPad の基本的な使い方は一斉に教えたが、プラスαの機能や使い方については、1人に教えた後に、その教わった生徒から他の生徒へ伝達することで、教え合い、学び合いが生まれる効果が期待できる。				